

電子錠管理システム機能要件一覧

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者側及び管理者側の機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	管理者システムの利用環境 ・対応デバイス：PC ・対応OS：Windows11 ・対応ブラウザ：Microsoft Edge ※正規サポート中（セキュリティパッチ等が提供されている期間内）のバージョンが搭載されている機器に対応
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。 提案する内容が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	解錠装置設置環境：インターネット 管理システム環境：インターネット インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。
		データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。 提案する内容が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	サービスで保有するデータは、日本国内に設置されたサーバに限る。 利用者側で登録するデータは、デバイス内には保有せず、サービス提供クラウド環境（データセンター内）でデータを保有すること。
			データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。 提案する内容が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	バックアップサイクル：1日間隔で実施すること。 バックアップデータ保有期間：1年以上とすること。 バックアップ環境：別途指定がある場合を除き、バックアップデータはすべて日本国内の環境に保管すること。
		サービス提供時間	指定する時間帯でサービスが利用可能とすること。	メンテナンス時間を除き24時間利用できること。
		ライセンス・ユーザ数等		
		利用者側ユーザ数	利用者側アカウントライセンスが必要となる場合は、指定する要件に対応すること。	利用者ユーザー数は無制限とすること。
		管理者側ユーザ数	管理者側アカウントライセンスが必要となる場合は、指定する要件に対応すること。	運用管理者（最高権限）1アカウント以上、窓口対応者3アカウント以上を利用可能とし、各アカウントの権限設定が行えること。
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面等の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、分かりやすい操作性が確保されていること。	・基本機能を利用しやすいように分類して、わかりやすく配置されていること ・自治体のサービスであることが分かりやすく伝わる工夫があること
		操作性	利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること。	
		アクセシビリティ	アクセシビリティに配慮したデザインであること。	
	情報セキュリティ	認証資格	情報セキュリティに関する指定する認証制度・評価制度に対応すること。	
		データセンター	・データセンターは Tier3 または4相当であり、建築基準法（昭和 25 法律第 201 号）の新耐震基準に適合していること。 ・データセンターの物理的所在地を日本国内とし、情報資産について、合意を得ない限り日本国外への持ち出しを行わないこと。 ・上記2点の代わりに政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）クラウドサービスリストに記載のあるクラウド事業者を利用することでもよい。	
		個人情報・情報セキュリティの遵守	個人情報・情報セキュリティに関する法令および条例等を遵守すること。	遵守する法令および条例等は次のとおりとする。 ・個人情報保護法 ・さいたま市情報セキュリティポリシー
		不正プログラム対策	システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウィルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。	
			システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。	
		その他セキュリティ対策	個人情報の保護に配慮するなど、利用者が安心して利用できる対策を実施していること。	
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	
		保有データの消去等	サービスの利用を終了、若しくは、サービス利用契約終了後は、発注者が提供を希望する保有データを提供したのち速やかにシステム（サービス）から消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。	クラウドシステム上からの完全削除の上、消去証明書又は消去報告書の提出すること
		オプトアウト対応	利用者からの申し出により、当該利用者に関する情報を全部または一部削除できること。	
	自動取得情報への同意	－	機器の個体番号やGPS位置情報等、利用者がサービスを利用した場合に自動的に取得する情報を明示するとともに、それら情報取得について同意を得ることができること。	
	プライバシーポリシー	－	プライバシーポリシーを表示すること。	
	統計機能	－	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計する機能があること。	集計するデータは次のとおりとする。 ・施設（設置箇所）ごとの解錠回数
	関係法規制への対応	－	サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。	

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
資格管理	利用者側アカウント管理	管理情報	利用者情報を登録・管理できること。	
	管理者側アカウント管理	管理情報	管理者アカウントに、氏名や所属等の属性を登録し管理できること。	管理者アカウント登録に必要な情報は次のとおりとする。 ・名前、メールアドレス、ユーザー名
		アカウント登録・設定	管理者側利用者アカウントは、指定する方法等により登録・設定できること。	・管理者アカウントIDとしてメールアドレスを利用して登録できること。 ・システム管理者が、管理者アカウントを発行することができること。
		アカウント認証方法	管理者アカウントの認証方法（再認証も含む）について、指定する要件に対応すること。	ID・パスワードの認証でログインできること。
		アクセス制御	管理者側アカウントの登録情報等を利用して、アクセス制御に対応すること。	・管理者アカウント毎に、使用可能な機能の制御ができること。 ・管理者アカウントの所属情報による使用可能な機能の制御ができること。
		アカウント情報の修正・停止（廃止）	システム上で管理者アカウント情報の修正・停止（廃止）を行えること。	
		不正ログイン対策	管理者アカウントについて、二段階認証など不正ログインを防止する対策を講じること。	
		複数錠の管理	複数の設置個所をまとめて管理できるグルーピング機能を有すること。	
前提条件	予約システムとの連携		施設予約システムと鍵情報の連携ができること。	連携方式：API連携
鍵情報設定・制御等	鍵情報（暗証番号等）の発行・設定	鍵情報（暗証番号等）の発行	施設予約システムの利用者側画面からの予約に対して、鍵情報（暗証番号等）を自動発行できること。	自動発行される鍵情報（暗証番号等）は、発行毎に異なる番号がランダムに設定されること。
			施設予約システム上の予約キャンセルに対して、鍵情報（暗証番号等）を自動削除できること。	
			施設窓口での予約において、施設予約システムの管理者側画面から職員による鍵情報（暗証番号等）の発行（再発行含む）ができること。	
		鍵情報（暗証番号等）の有効期限	鍵情報（暗証番号等）の有効期間を任意に設定できること。	
		鍵情報（暗証番号等）の確認	発行した鍵情報（暗証番号等）が、管理システム上で容易に確認できること。	
		鍵情報（暗証番号等）の発行	施設利用者毎に異なる鍵情報（暗証番号等）を、指定する人数分以上を常時発行できること。	
		利用者への通知機能	施設予約システムを通じて鍵情報（暗証番号等）を利用者へ通知することができること。なお、右記で示す施設予約システムとの連携の要件に対応すること。	施設予約システムの通知機能とAPI連携し、鍵情報（暗証番号等）の通知ができること。
	解錠・施錠機能		事前に発行した鍵情報（暗証番号等）を利用し、容易に解錠及び施錠が可能であること。	
		オートロック	オートロック機能など退出時の施錠忘れを防止する機能があること。	
		マスターキー	施設管理者等が解錠するにあたり、マスターキーとなる鍵情報（暗証番号等）を設定することができること。	
	異常時への対応		停電を伴う有事の際にも、右記で示す解錠する手段があること。	災害時、通信環境が正常動作していない状態であっても、物理鍵や管理システムで事前に発行した非常用暗証番号を利用し、解錠できること。
		遠隔管理	遠隔操作により施錠及び解錠ができること。	
		メンテナンス情報	電池式の場合に遠隔でも電池残量を確認できること。	
			電池式の場合に電池交換時期を施設管理者に通知できること。	
		履歴確認	解錠・施錠履歴を確認できること。	